

広報

# こだま

2018

Vol.31

【栗田病院 広報誌】

クリクリ市毛がロングデイサービスにリニューアル  
働きながらの介護をサポートします。

入社式・新入職員紹介

広報散歩

グループホームくりの木・くりあん

フォーカス くりた人

精神保健福祉士 阿部彩月



## 有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と  
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける  
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に  
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会  
**栗田病院**

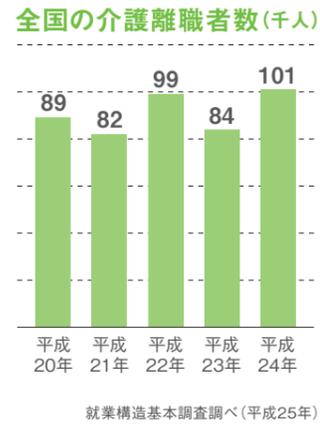
〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505  
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com  
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

# 働きながらの介護をサポートします。

平成30年4月16日よりクリクリ市毛では、お仕事をしながら在宅で介護をされているご家族をサポートするロングデイサービスの提供を開始します。

昨今、介護離職というキーワードを耳にすることが多くなっています。アベノミクス新3本の矢にも「介護離職ゼロを目指す」という方針があります。平成30年度の介護保険制度改正の中でも介護離職の問題が取り上げられました。

介護離職とは親や近親者の介護を理由に退職することを指します。身近に感じられない方もいらっしゃるかもしれませんが、左表の通りに年々増加しています。少し古いですが、平成24年には年間で10・1万人の方が介護を理由に仕事を辞めています。現在は更に増加していますし、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けてより重要な課題になっていきます。



有朋会介護事業部でも、以前より「仕事が終わるまで延長で利用したい。」「夕食の提供もしてくれ」と帰ってからの介護が楽になる。」等のお声を頂いておりました。有朋会では企業のメンタルヘルスサポートも行ってありますが、企業現場からも働きながらの介護をサポートして欲しいというニーズを頂いておりました。これまでもスポット的にそういったサービスを提供していましたが、より便利にご利用いただく

けるように、働きながらの介護を応援することに特化したサービスの提供を行うこととしました。

介護離職が注目されるようになったのはまだ最近のことであるため、働きながらの介護の具体的なイメージがつかめない方も多くいらっしゃると思います。厚生労働省の「仕事と介護の両立事例」のサイトには様々な両立事例が載っておりますので概要をご紹介します。

**労働者**：40代女性  
**要介護者**：実母・70代・要介護4（認知症、うつ等認知症による徘徊がある）  
**事例の概要**：10数年前にうつ病を発症。その後認知症を発症。徘徊があり見守りが必要。仕事と介護の両立のために通常は通所介護を利用し、出張等の際はショートステイを利用。介護全般は勤務時間中のデイサービスにお預かりしており、帰宅後に労働者が行う介護は身支度の介助程度とする。ことで介護疲れにならないように心がけている。

働きながらの介護では介護者が介護疲れにならないようにサポートすることが非常に重要になります。右記の例でも介護全般をデイサービスが担うことで、働いている方の介護負担を最小限に留める工夫がされています。平成29年3月には厚生労働省が「デイサービス利用開始後の仕事と介護の両立への影響」という資料を発表しています。その中では、デイサービスの利用時間が長いほど、介護と仕事の両立がしやすくなるという結果が出ています。特に9時間以上の利用の場合は95%の家族が介護と仕事の両立がしやすくなったと答えていました。

クリクリ市毛では、こういった事例や調査結果をもとにこの度のリニューアルを行いました。サービス例は次の通りです。

8:30	ご自宅にお迎えに伺います。
9:00	クリクリ市毛に到着 午前のプログラム
12:00	昼食 午後のプログラム
18:00	夕食
19:00	ご自宅にお送りいたします。

サービス提供時間は9時～18時の9時間ですが、ご希望に応じて19時までの延長利用が可能です。最大で10時間までご利用いただけます。また、夕食のご提供もいたします。ご家族様の出勤前にお迎えに伺い、帰宅後にご利用者様をお送りすることができます。ご自宅での介護はデイサービスに出かける際と帰宅後の身支度等の介助程度ですので、ご家族の介護疲れを防ぐことが出来ます。

こういった介護離職予防に向けた取り組みは全国的にも始まったばかりであり、ロングデイサービスの事例もあまりありません。有朋会介護事業部でも、様々な試行錯誤を行いながら働きながらの介護を支えるサービスを作っていきたくて考えております。今後も皆様からの様々なご要望やご希望をいただければうれしく思います。

**「クリクリ市毛責任者コメント」**  
私たちはこれまで、ご家族様との関わりの中で長時間利用への声が多く寄せられており、このような声に応えるべく、このたびロングデイサービスを開始することとなりました。



責任者 飯村真里

ご家族様からの、「二人にさせてしまう時間が少なくて安心する」、「自分の時間が持てる助かる」というお声のもと、18時までお預かりさせていただくことになりました。夕食の有料サービス利用も含め、少しでもご家族様の負担軽減に繋がればと考えております。

# 平成30年度 入社式

4月2日(月)、10名の職員が新たに有朋会に入職しました。入社式では、理事長・院長から激励の言葉とともに、これから一緒に働いていく上でのビジョンと想いが語られました。



新入職員一人ひとりに辞令が手渡され、この日より有朋会の新たな一歩がスタートします。皆さんが「有朋会」を選んでよかったと思えるよう先輩職員も全力でサポートします。今後の活躍に期待しています。

## 新入職員コメント

○外来リハビリテーション課 配属  
**精神保健福祉士 高木結利**



有朋会の魅力は、利用者様が本人らしく生活を送れるようスタッフ一丸となってサポートしている事や、そのスタッフが生き生きと勤務できるような工夫を凝らしている点です。その中でも有朋会ファミリーが共に目標に向かって一人ひとりやりがいを持ち、楽しく勤務に励む事ができることに最大の魅力を感じています。初年度の目標は仕事を覚える事はもちろん、積極

○訪問看護ステーションこころ 配属  
**作業療法士 田沢成美**



私を感じた有朋会の魅力は、作業療法士を始め多職種のスタッフが様々な現場で活躍し、「チーム医療」で利用者様を支援しているところです。また、病院内だけでなく地域でもその方らしく安心して生活を送る事ができるよう、そのサポートを行っているところにも魅力を感じました。作業療法士としては知識や経験も浅く未熟ではありますが、諸先輩方を手本に利用者様がその方らしく生き生きとした生活を送れるように支援していききたいと思います。一日でも早くチーム医療の一員として貢献できるよう、笑顔忘れず日々精進して参ります。これからよろしくお願いたします。

○臨床心理課 配属



このたび、臨床心理課の一員となりました。中谷南保と申します。私は、患者様や利用者様、そのご家族皆様を第一に考え、皆様自身の力を信じ、職員だけでなく患者様を含め



# 広報散歩

『グループホームくりの木・くりあん』  
今回は、精神障害を持ちながらも地域で生活を送る方をサポートするグループホームくりの木に伺いました。

## グループホームの紹介

グループホームとは、主に精神障害をお持ちの方で住まいに困っている方、生活が一人では難しい方が住居として住みながら職員の手助けを受けるサービスです。支援内容としては、調理や洗濯、掃除など日常生活に関する支援、服薬管理や金銭管理などのお手伝いを行っています。入居されている方は日中デイケアや就労支援などの他のサービスに通い、夕方からグループホームでの共同生活を送ります。現在、有朋会では那珂市に3つ、水戸市に1つのグループホームを運営し、定員数は42名となっています。入居されている方の疾患のほとんどは統合失調症であり、中には精神遅滞合併の方もいます。

当グループホームに入居される方は、精神症状の悪化により入院生活を送っていた方、家族が高齢となり先々の自宅での生活に不安を持っている方など、利用となる背景は様々です。地域でより安定した生活を送るために、それぞれが抱えている不安を取り除くことが重要です。

入居される方の中には、入院により仕事をなくし退院後も単身での生活を余儀なくされ、収入や生活費に困っているというケースもあります。そういった方には、グループホームでの生活の中で生活保護の手続きやお金の管理などを重点的に行い、次の生活へのステップアップを目指していく利用方法もあります。勤務している職員は、精神保健福祉士、事務職員、ナース



責任者 菅谷文嗣 スタッフ 丸山梓

スエイドで構成され、それぞれがサービス管理責任者、生活支援員、世話人としての役割を担っています。

## 入居者様との関わり

入居者様との関わりでは悩む事もたくさんあります。例えば入居者様からのご意見一つとっても、病状によるものなのか性格によるものなのか判断の難しい事があります。ご本人の想いになるべく添えるように解決に向かうための確な対応が必要です。ここで気をつけている事は、職員同士の情報共有を密にすることです。中には幻聴や幻覚により、易怒的な訴えをされる方もいます。その都度職員同士で対応が違っていると入居者様も混乱してしまうので、毎日ミーティングを行っています。対応方法を統一する事で、ご本人にとって一番よいケアに繋がります。定期的な開催される施設内勉強会では、それぞれが対応に困った事例などを出し合っており、対応方法の強化を図っています。こうした機会を通して、よりよい入居者様との関わりを追求し続けています。

## 力を入れている取り組み

力を入れている取り組みは入居者様の幸福感を高める活動です。グループホームで充実した生活を送っていたく為に、皆さんが楽しめるサービスを提供する事が重要だと感じています。共同生活の場を活かして合同での調理や、季節に合わせた行事なども行っています。当法人の運営する精神科デイケアで行われる外出プログラムにもなるべく参加できるように協力しています。入居者様は普段外出の機会が少ないので、買い物や外食などを楽しみにされている方も多いため、この時期は公園などで花見もいっしょですね。こうした休日などの余暇支援にも力を入れています。

精神科デイケアとの繋がりはとても重要です。当グループホームに入居されている方の多くは、当法人運営の精神科デイケアに通っています。先述したプログラム以外にも、日中の生活の場となっているので、小さな体調の変化も見逃さないように情報共有は密に図っています。口腔ケアも力を入れている取り組みの一つです。長

期入院などをきっかけに歯を磨く習慣がなくなってしまう方も多く、まずは歯を磨く必要性から知ってもらいたい入居者様向けの勉強会を行うようにしました。高齢の方は誤嚥のリスクなどもあるので、とても重要な取り組みです。歯磨きチェック表を作成して歯磨きを促す事で、毎日磨いてくれる方も出てきました。あわせて手洗いがいなどもするように、風邪やインフルエンザなどの予防にも効果がありました。

## 今後のグループホームの目標

法改正に伴いグループホームの体系自体も変わります。たとえば高齢者と精神障害者が同じ事業所に通いやすくなる共生型サービスなど、サービスの幅は多様化しています。これに答えられるように、必要な情報を集めしっかりと準備していきたいです。

入居者様が充実した生活を送ってもらうためにコミュニケーションをしっかりとって、悩んでいる事ややりたい事などを相談できるような環境作りもしていきたいです。自身では思いを表現する事が苦手な方もいます。こちらから声掛けを行って、一人ひとりと話す時間、関われる時間を増やしていければと思います。さらに満足度調査を行い、入居者様の希望や想いを聴ける機会を増やしました。後悔しない生活を送ってもらうための手助けができればうれしいです。

さらには、グループホームで働く職員のモチベーションも大切にしていきたいです。先述した勉強会やミーティングは、入居者様だけでなく、職員同士のコミュニケーションがとれる場でもあります。日頃からコミュニケーションをとり、働きがいのある環境作りにも力を入れていきたいです。



# フォーカス くりた人



自立訓練(生活訓練)事業所 くりの実

## 精神保健福祉士 阿部彩月

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

## 配属部署での役割や活動、担当業務

私の勤務しているくりの実は、精神障害をお持ちの方を対象に、通所にて日常生活に必要な訓練を行う「自立訓練(生活訓練)」と、入所しながらその訓練を受けることができる「宿泊型自立訓練(生活訓練)」、短期的な療養などを目的に数日間宿泊する「短期入所(ショートステイ)」の3つを中心にサービスを提供しています。生活訓練では、午前は主に掃除や洗濯、料理など自立した生活を送るために必要な訓練プログラムを実施し、午後からは面談やスタッフ同行での病院受診など利用者様自身の目標に向けた個別支援を行っています。目標に応じて支援計画を立て、必要に応じたプログラムに参加したり、個別支援の時間を使ってそれぞれの課題に沿った活動を行っています。

プログラムの内容は様々ありますが、精神保健福祉士として担当させてもらっているプログラムは、制度やサービスに関するものを中心としています。利用者様それぞれの目標や課題に向けて利用可能な制度やサービスを一緒に勉強し、地域での生活をより良くするためのお手伝いをしています。

短期入所(ショートステイ)は、静養や療養を目的に数日間宿泊していただくサービスです。外来受診に合わせた利用や家庭の事情など、利用に至る理由は様々ですが、生活リズムを整えるという意味でも使いやすいサービスとなっています。定期的にご利用いただく事で、体調の変化や服薬状況の確認など行う機会になっています。くりの実での精神保健福祉士としての業務以外に

はHOTカード委員会という活動に参加しています。HOTカードとは職員同士のコミュニケーションを活発にするために始められた病院独自の取り組みで、感謝の気持ちを手のひらサイズのカードに記入し、専用のポストに投函すると相手に手紙のように届くという仕組みになっています。委員会活動を通して他部署の方と関わる事ができ、私自身にとっても他スタッフとコミュニケーションを取る事ができる大切な機会となっています。

## 利用者様との関わり

生活訓練を行う上で自身の課題をきちんと自覚されている方は、プログラムにも熱心に参加され効果が出やすいのですが、自覚がなく自身で必要性を感じていない方には、こちらからアドバイスをして気づきを得てもらう事も重要となります。身だしなみなど客観的に目に見える部分は丁寧に伝えて自覚を促したり、服薬管理などはプログラムを通してその必要性を感じてもらうなど、少しでも気づきを得ていただくためのアプローチが必要となります。その際気を付けている事は、指示的な対応にならないよう言葉遣いや態度に注意する事です。利用者様に信頼していただき良好な関係が築けるよう心がけています。

よりよいサービスを提供するために意識している事はスタッフ同士の連携です。情報共有を密に行い利用者様の状況を把握しておく事で、たとえば担当スタッフが不在であっても素早く対応できるようにしています。

また、くりの実では利用者様だけでなくご家族様へのアプローチにも力を入れています。地域での生活を続けるためにはご家族様の協力は不可欠です。しかし、くりの実の利用には病状悪化による入院生活を通して繋がるケースもあります。そのためご家族様の中には入院以前の悪い印象が残っている場合もあり、自宅に戻った後の生活を不安に思っている方も多いため、そんな時私たちがスタッフにできる事は、利用者様とご家族様の架け橋になる事だと思っています。くりの実での生活の様子や改善された部分などをこまめにお伝えして、不安を少しでも軽減できるように努めています。

## やりがいを感じる時

利用者様本人だけでなくご家族様からも、くりの実での生活を通して「できる事が増えた」「相談してよかった」「くりの実

を利用してよかった」と言っていた事がとても嬉しいです。その中でも特に利用者様の变化に気付けた瞬間にはやりがいを感じています。入所で利用されている方と接する時間は長いので、利用開始当初と比べると状態が安定していたり、表情も良くなったりと、利用者様の変化にはとても敏感になりました。退所後も元気な姿を見せに遊びに来てくれる事もあり、落ち着いた生活が続けられ、自身の目標に向かって生活できていると報告をいただけた時はとても嬉しい事です。

## 精神保健福祉士を目指したきっかけ

もともと精神障害の分野で働きたいと思っていたのですが、大学進学の際にパンフレットをみて、精神保健福祉士という資格を知りました。この仕事は、患者様や利用者様だけでなく、それを取り巻く環境やご家族様も含めて支援できるともやりがいのある仕事だと知り、とても興味を持ちました。先述した通り、くりの実ではご家族様へのアプローチも大切に行っているので、まさにやりたかった仕事と実感しています。

## これからの目標

利用者様と個別に関わる時間を増やしたいです。今はあまり時間が取れず、利用者様とのコミュニケーションの時間が正直少ないのが現状です。実は利用者様にも「忙しそうに相談できなかった」と言われてしまった事もあります。業務効率を上げるとともに優先順位をきちんとつけながら、利用者様主体で関われるようにしていきたいです。今後の取り組みとして、くりの実をもっと気軽に利用していただけるような環境作りを目指したいです。宿泊型自立訓練の利用期限は2年間と決められていますが、必ず2年間利用しなければならぬわけではないわけではありませぬ。くりの実で提供しているサービスプログラムは最短で3ヶ月で終われるようにできています。短期間で自身の課題や目標をクリアできれば自宅での生活を早める事もできますし、ほかにも課題が出てきた場合にはその課題がクリアできるような入所の期間を少し延ばしてもよいと思います。もっと自由な使い方ができるような環境作りが必要だと感じています。

利用者様やご家族様がそれぞれの課題に真剣に向き合い、その課題の達成に向けて自信を持って進んでいけるよう私たちにできる事を模索し続けていきたいと思っています。

# 診療案内

## 外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第3・5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	翠川	疋田	高橋
	5 診					井出	翠川
午後	1 診	栗田	田中	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		第3週 鈴木
	3 診		早坂	竹下			
	5 診		佐藤				

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。
2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

<午前の部> <午後の部> \*精神科外来は完全予約制になります。  
 受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00 \*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。  
 診察時間 9:00～ / 13:30～ 予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

# 関連施設

地域生活支援事業部

## 障害福祉サービス事業所 自立訓練(生活訓練) ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL&FAX.029-295-1834

## 障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

## 認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

## 小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

認知症疾患事業部

# アクセスマップ

